



素早く机の下に

【別府】別府市は2日、大規模地震を想定したシエイクアウト（一斉防災訓練）を実施した。防災週間（8月30日～9月5日）に合わせた取り組みで、学校や企業など約120団体の約1万8千人が参加した。

県中部を震源とした地震が発生し、市内で震度6強の揺れを観測したとの想定。参加者は市内各地に設置されたスピーカーから流れるサイレンを合図に、その場で身の安全を確保する行動を取った。

亀川小（志賀貴代美校長、345人）では全校児童が参加。授業中に警報音が流れ、素早く机の下に身を隠した。志賀校長は「災害が発生した時に確かな避難行動が取れるよう、今後も訓練を続けていきたい」と話した。

市防災危機管理課は「避難先や家族との連絡方法をあらかじめ考え、備蓄品、非常持ち出し品の準備を進めてほしい」と呼びかけている。（横田彦成）



机の下に身を隠す児童たち＝2日、別府市内蔵の亀川小

姿勢低く、頭守る

【大分】大分市は2日、南海トラフ地震を想定した防災訓練「シエイクアウト」を市内各地で実施した。地震が起きた際、瞬時に安全行動を取れるようにすることが狙い。

市職員をはじめ、市内の434団体が参加。午前11時45分、沿岸部や市役所にある計85カ所の防災行政無線などから、訓練開始のアナウンスが流れ、

「姿勢を低くする」「頭を守る」「揺れが収まるまで動かない」の3つの安全行動に取り組んだ。

同市碩田町の住吉保育所では園児や保育士ら約90人が机の下に身を隠した。保育士が揺れが収まったことを確認した合図で、園庭まで速やかに避難した。衛藤友絆ちゃん（6）は「慌てないで逃げるのができて良かった」と話した。

市は2011年の東日本大震災をきっかけに14年から毎年、実施している。

（安里葉冬）



机の下に潜り、頭を守る園児＝2日、住吉保育所

▶大分市

南海トラフ備え防災訓練

南海トラフ備え防災訓練

◀別府市

〔問①〕南海トラフ地震を想定した防災訓練のことを何と呼びますか。

〔問②〕地震が起きたとき、身の安全を確保するための3つの行動は何ですか。

〔問③〕あなたが南海トラフ地震に備えていることを教えてください。